

第11回

議会報告会を開催します!

～「予算が決まるまで」区議会での議論について～

令和6年5月14日(火) 18時30分～19時30分

より身近に。より開かれた議会へ。
議員自らが議会活動の内容をお伝えする「議会報告会」を会場・オンラインの両方で開催します。
皆様のご参加をお待ちしています。

内容 議会の概要説明、予算審査特別委員会・常任委員会・議会運営委員会の報告
※終了後に議会ツアーあり(希望者のみ)

インターネットによるライブ中継も実施します



会場 区役所11階 第一委員会室

申込み・問合せ 会場参加をご希望の方は、5月1日(水)から5月13日(月)までに、区議会事務局まで電話またはメールでお申し込みください。その際、議会ツアーの参加の有無についてもお知らせください。
【電話】3579-2703(午前9時から午後5時まで。土日祝日を除く。)
【メール】gikai@city.itabashi.tokyo.jp

定員 50人(申込順)

参加費 無料

令和6年第1回定例会(2月14日～3月22日)

令和6年度一般会計予算及び4特別会計予算を可決

主な掲載内容	面
施政方針に対する代表質問(要旨)	2 ～ 3
令和6年度予算に対する総括質問・討論(要旨)	4 ～ 5
令和5年度補正予算に対する総括質問(要旨)	6
議案・陳情の審議結果	6
一般質問(要旨) 区政全般に対して行われた質問を紹介	7 ～ 8
議会トピックス	8

- 定例会では、区政の各分野における課題について、7名の議員が一般質問を行い、区長などに報告や説明を求めました(要旨を7～8面に掲載)。
- 令和6年度予算や令和5年度補正予算など区長提出議案37件を可決し、議員提出議案は2件を否決しました。また、陳情は3件を採択、11件を不採択としました(審議結果及び補正予算に対する総括質問の要旨は6面に掲載)。
- 区長から提案された人権擁護委員候補者の推薦に適任との意見を付しました。

令和6年度当初予算の審査の経過

- 本会議2日目(2月29日)に予算案が提出され、区長から施政方針の説明を受けました。これを受け、本会議3日目(3月5日)に、各会派が区長の施政方針に対する代表質問を行いました(要旨は2～3面に掲載)。
- 区議会では、全議員により構成する「予算審査特別委員会」において、延べ5日間にわたり集中的に審査を行いました(予算に対する総括質問の要旨は4面に掲載)。
- 本会議最終日(3月22日)に、予算審査特別委員長が審査結果を報告し、各会派による討論を経て、令和6年度当初予算を賛成多数で可決しました(討論の要旨は5面に掲載)。

令和6年第1回臨時会(4月16日)

- 国の総合経済対策における物価高への支援などに要する経費に関する令和6年度一般会計補正予算(第1号)など区長提出議案2件を可決しました(詳細は6面に掲載)。



○ホームページでは、本会議のインターネット生中継や録画配信がご覧いただけます。
○本会議や委員会の次第、配付資料はホームページに掲載しています。

板橋区議会 Q検索



代表質問

3月5日
本会議

◆質問と答弁は要旨を掲載しています。
◆代表質問の全文(会議録)は、5月下旬にホームページに掲載します。
◆スマートフォンなどで2次元コードを読み取ると、各議員が代表質問をしている動画にアクセスできます。



佐々木としたか

(自民党)



東武東上線連続立体化とまちづくりについて問う

【質問】東武鉄道と工事業者の協議内容と6年度のスケジュールについて伺う。

【区長】大山駅付近の連続立体交差事業については、東武鉄道から、受注契約した工事業者との間で、継続して6年度も施工計画の検討などを進めていくと聞いている。

【質問】ハッピーロード大山商店街のアーケードの一部解体の内容と区の間わりは。

【区長】解体は6年4月から始まり、範囲はクロスポイント周辺地区にある約70mの部分であり、屋根や柱の撤去などが予定されている。区としては、今後、工事が安全かつ円滑に進むよう、必要に応じて調整を行っていく。

【質問】大山町ピッコロ・スクエア周辺地区の区有地に對する今後の取組みと課題は。

【区長】商店街振興組合や再開発組合が今後の対応について、店舗側と継続して折衝を行っていく予定と聞いている。区は商店街振興組合に對

を強く求めるが、見解は。
【区長】ハトへの餌やりを原因とした環境悪化の改善には、条例制定をもって臨むことが有効であるとの考えに至り、今後は早期の条例制定をめぐり検討を進めていく。



板橋区地域防災計画の見直し・改定について問う

【質問】避難確保計画の現時点における策定率及び策定された計画の活用内容は。

【区長】6年2月時点の策定率は、95%を超えている。今後は、計画に基づき具体的な避難訓練が着実に実施されるよう、避難確保計画の実効性をさらに高めていく。

【質問】防災情報のDX化推進では、防災情報が区民にすべからく伝わらなければならず、特に要配慮者や障がい者対策も必要である。見解は。

【区長】避難所などの可視化した情報が、高齢者などの要配慮者に伝わるようにするため、様々な手段を確保するなど、取組みを進めていく。

都立城北中央公園と周辺の整備について問う

【質問】公園とその周辺を(仮称)東京城北未来スポーツ・カルチャーエリア」として検討を進めてほしいと考え

るが、整備についての見解は。

【区長】豊かな自然の中で文化や歴史に触れながらスポーツなどを楽しめるよう、地域に潜在する魅力を高め、新たな公園都市の創出に向け、整備を進める。

史跡公園・産業ミュージアム整備について問う

【質問】6年度の事業内容と予算の内訳、今後のスケジュールは。

【教育長】整備計画を策定するとともに、遺構の保存修理工事などを行う予定で、整備事業費は約5300万円となっている。7年度に基本設計、9年度に実施設計、10年度から11年度に工事を行い、グラウンドオープンする予定である。

【質問】史跡公園の整備における、金沢市との連携・協力について、どのような内容の協議が進んでいるか伺う。

【教育長】金沢市の資料館や石川県の博物館と、加賀藩下屋敷の絵図及び当時の記録や古文書の複製・展示に関する協議を継続して行っている。

産業政策について問う

【質問】産業経済部の組織強化と官・民・大の連携による職員の人材育成機関を設け

【区長】官・民による人材育成機関を設置することは難しいが、専門性の高い研修の受講や産業振興公社職員のプロパー化などにより組織強化を図っていく。

【質問】いたばし産業見本市の今後の方向性は。

【区長】区の産業ブランド力を発信していく場と捉えている。区内に集積する製造業の持つ、ものづくりの価値を技術や歴史などの様々な角度からPRしていく。

板橋区政諸般について問う

【質問】都区財政調整制度の配分割合など、都区の課題にどのように取り組んでいくか、決意を伺う。

【区長】都区制度改革の本旨を初志貫徹すべく、特別区長会一丸となって課題の解決に取り組んでいく。

【質問】使用料・手数料などの見直しについて、今後の計画や検討の進め方は。

【区長】現在、現行料金と原価コストの比較のための準備などをしており、今後、改定の方針や改定額などについて議会に報告する予定である。その後、議会の審議を経て、7年4月1日に改定となるスケジュールである。

【質問】ふるさと納税制度について、6年度の返礼品やクラウドファンディングなど、積極的な収入確保の取組みは。

【区長】板橋Cityマラソン出走権などに加え、板橋のいっぴんを返礼品に加える予定である。また、クラウドファンディングを活用し、絵本のまち板橋の普及啓発や機運醸成につながる新たな取組みにもチャレンジしていく。

【質問】郷土資料館・美術館・赤塚植物園などの周辺地域を安心・安全に巡り歩けるよう、環境を整備すべき。

【区長】6年度より改定作業を行う「板橋区観光振興ビジョン2035」では、区内の観光資源の環境整備の考え方を検討する予定である。

教育行政諸般について問う

【質問】部活動地域移行における実施計画の事業の中で、

6年度に予算化された事業と予算総額は。

【教育長】いたばし地域クラブの拡充や部活動指導員の増員、地域移行シンポジウムの開催の3事業であり、部活動地域移行関連の予算総額は1億1400万円余である。

【質問】赤塚体育館の長寿命化改修工事に併せて、中学校部活動の受け皿になる地域スポーツ団体の活動スペースを検討すべき。

【区長】教育委員会と連携しながら、スペースのあり方について検討していく。

【質問】部活動地域移行について、区民文化部や体育協会、スポーツ推進委員協議会など今後どのような取組みを考えているか。

【教育長】今後は様々な課題のうち、特に指導者の不足に関し、人材の輩出を通じて、引き続き協力を得られることを期待している。

【質問】朝読書の取組み・効果について、5年に行われた朝読書の実施に対するアンケート内容を含め、見解は。

【教育長】登校時間や他の取組みなどにより、時間が取れない学校がある一方で、朝に限らず実施している学校もある。柔軟な取組みや読書時間の確保を促すことで、不読率の改善に努めていく。

【質問】子ども司書の役割と活動内容、関係機関との協議・支援体制について伺う。

【教育長】活動は、中央図書館での書架整理や学校でのおすすり本の展示などがある。学校を通じて活動実績の報告を依頼するなど、関係機関に

いて、区民が等しく気軽に読書に親しめる環境整備を。

【教育長】6年度には2か所において、新たに図書資料の返却ポストを設置予定である。また、来館せずに利用できる電子図書サービスを推進するなど、図書館の圏域から離れた地域における図書館サービスを引き続き検討していく。

【質問】「視覚障害者等の



鈴木

(公明党)



防災対策について問う

【質問】福祉避難所の確保に向けた対策は。

【区長】避難所数の増加は、No1実現プラン2025改訂版の実施計画に位置付けており、着実に推進していく。人員不足に対しては、関係事業者に都の制度などを情報提供し、協力を要請する考えである。

【質問】町丁目ごとの特性を考慮したきめ細やかな地区別防災マニュアルの改定が必要と考えるが、見解は。

【区長】前回は、町丁目別の地域危険度測定調査結果などを記載し作成している。今改定でも、きめ細かい資料を提供することで、区民ワークショップでの的確な議論を促し、地域特性に応じたマニュアル作成の支援を行っていく。

【質問】地域防災計画におけるマンションの防災対策について、具体的な施策は。

【区長】都の「東京とどまるマンション」制度を参考に、マンション防災の促進に寄与する「ハードとソフトを連動する制度」について、検討を進めていく予定である。



6年度予算の概要を問う

【質問】事務事業の見直しによる事業の効率化と諸課題に対する積極的な財政投入について、予算の中どのように具現化されたのか。

【区長】産後ケア事業の実績に基づき内容を見直し、新たに通所型を事業に加えた。さらに、産後ドゥーラが訪問する「産前産後支援事業」を導入し、切れ目のない子育て支援を充実させた。

基本目標「未来をほぐくむ あたかいまち」を問う

【質問】健康福祉センターと子ども家庭総合支援センター

(3面に続く)

(2面から続く)

1が一体的に相談支援を行う体制について、具体的な内容と準備状況は。

【区長】健康福祉センターと子ども家庭総合支援センターの連携体制を強化することで、6年度に子ども家庭センター機能を開始する。一体的で切れ目のない相談支援体制を構築し、安心して子育てできる環境をめざしていく。

【質問】部活動の地域移行における居場所づくりに対する見解は。

【教育長】今後、部活動改革を推進することで、生涯に渡りスポーツや文化芸術、学問に親しめる新たな居場所の拡充が期待できる。

【質問】板橋キャンパス跡地に整備される障がい者施設の開設予定時期は。

【区長】開設時期は8年度末を予定しており、円滑な開設に向け、都と連携を密にして事業を推進していく。

基本目標Ⅱ「いきいきがややく元氣なまち」について問う

【質問】シニアのスマートフォン個別相談会で、「いたばしPay健康ポイント事業」を紹介し、健康管理ツールとしての活用を図るべき。

【区長】ポイント事業を積極的に周知し、シニア世代の健康づくりの一助としていく。

【質問】肺がん検診を集団検診から個別検診に変更し、必要なシステム改修費用を予算化し、検診事業のシステム化を充実させるべき。

【区長】現在、区医師会と多角的な視点で検討を進めており、クラウド技術などの導入も視野に、実現に向けて努力していく。

【質問】いたばしPayの

加盟店舗をさらに拡大すべき。

【区長】6年度は、決済額の最大10%を店舗に還元する「加盟店応援キャンペーン事業」を行うなど、加盟店の増加を図っていく。

【質問】板橋の「いっぴん」をふるさと納税の返礼品に加えることについて、どのように進めるのか。

【区長】いっぴん事業者に対し、返礼品参加の方法などを丁寧に説明することから開始する。国の返礼品承認を得るなどしながら、6年秋頃を目途に準備を進めていく。

基本目標Ⅲ「安心・安全で快適な緑のまち」について問う

【質問】プラスチック資源化事業を始めるにあたり、中間処理業者や雇上会社との連携について、見解は。

【区長】事業開始以降も状況を適切に把握・共有し、相互理解に努めていくことが重要となる。引き続き、事業者との協議を通じて、より良い連携となるよう努めていく。

【質問】東武東上線の可動式ホーム柵の整備について、先行して整備する3駅の安全性の確保と残りの駅の一日も早い整備を求める。見解は。

【区長】鉄道事業者から、先行して整備する3駅は、必要な対策を講じていくと聞いている。区内各駅にも補助を予定しており、引き続き都と連携し、事業者との協議を進め、早期の実現を促していく。

【質問】絵本のまちブランドを最大限に生かした高島平のまちづくりを推進すべき。

【区長】絵本のまちのブランドを生かし、価値を創造していくことで、「東京で一番住みたくなるまち」の新たなステージを体現できるように、



おなだか勝

(民主クラブ)



再開発の現状と見通しを問う

【質問】大山町クロスポイントの4棟のビルは6年中に完成予定であるが、アーケードの一部撤去の時期はいつか。

【区長】6年9月末を目途に工事を完了させるとハッピーロード大山商店街振興組合から聞いている。



大山町クロスポイント周辺地区(完成イメージ)

【質問】大山町クロスポイント周辺地区の再開発が完成する際には、披露式典や大規模まちづくりに取り組んでいく。

公共施設のベースプランについて問う

【質問】老朽化した公共施設の整備には、廃止施設の跡地活用も含めて検討する必要がある。まずは、今後10年間を見据えた財源確保が重要と考えるが、見解は。

【区長】基金・起債の活用に加え、廃止施設の貸付など、区有財産の有効活用も含め、中長期的な視点から様々な収入の確保にも努めていく。

※以上のほか、計画を推進する区政経営について質問があった

模イベントなど商店街活性化に対する支援をすべき。

【区長】現時点において、再開発組合から披露式典の開催などの具体的な報告は受けていない。今後、実施について検討を進めていく際には、商店街や地元団体などと連携を図っていく。

【質問】大山町ピッコロ・スクエア周辺地区の再開発について、反対などの運動が大きくなるとなっている。区が当事者を引き合わせる役目を担ってほしいが、見通しは。

【区長】商店街振興組合は、店舗側と折衝中であり、区は引き続き、今後の対応について強く要請していく。

職員を大切にすることを

【質問】区の保育所のあり方を追求する区立保育所は一定数残すべきである。今後、区立保育所はすべて民営化を考えているのか。

【区長】貴重な保育士人材の知見を幅広く子育て支援策に生かしていくためにも、一定数確保していく必要があると認識している。

【質問】すべての学校の用務業務を委託化する場合は、委託内容を見直し、施設管理などの警備を含めるべき。

【教育長】教職員は退勤時に施設全体の窓の閉鎖確認や消灯など、一定の負担が生じることから、施設管理などの学校警備を含め、今後も学校現場との意見交換に努めていく。

個人情報流出事故を問う

【質問】納付案内センター

において、委託事業者による個人情報流出事故が発生したことに対し、どのような再発防止策を講じたか伺う。

【区長】委託事業者に対し、遵守事項の徹底や法令遵守研修の受講などの申入れを行った。さらに、定期的な履行確認や区への報告を厳格化する。

いたばしの教育について問う

【質問】今後も小中一貫校を実現する可能性はあるのか、また、一貫校設置の基準はあるのか伺う。

【教育長】今後策定する「いたばし魅力ある学校づくりプラン後期計画」の中で、小中一貫型学校の設置や配置について、考え方を示していく。

【質問】今後も教科センター方式をめざすのか、それとも教科教室型運営方式との使い分けを模索していくのか、見解は。

【教育長】今後も教科センター方式を含めた教科教室型運営方式を継続し、時代ニーズや学校の状況に応じた教育環境の整備に努めていく。

【質問】学校現場では教員の休職や退職によって悲痛な叫びが聞こえている。区独自で教員経験者の採用をするなど、人材確保について予算を拡充すべき。

【教育長】学力向上専門員や学校生活支援員など区の財源を使って多くの人材を配置している。今後も、学校全体の活動を効果的に支援していく。

【質問】教員の異動がある中で、教員と部活動指導員の部活動種目が重なった場合、指導員を異動させるのか、それとも教員に別の部活動種目を担当してもらうのか伺う。

【教育長】臨機応変に対応する必要がある。教員が部活動



竹内

愛

(共産党)



区長の政治姿勢を問う

【質問】政治資金パーティー券収入のキックバックなどの裏金づくりは犯罪行為と認識しているか。見解は。

【区長】起訴された事案については、報道により承知しているが、有罪と確定していない個別の件に関して認識を述べない立場にない。

【質問】違法な裏金づくり、旧統一教会と深い関わりがあると考えられる政治家や政党と一体となり、区長選挙に臨んだことに対する認識は。

【区長】5年4月の区長選挙では、立候補に際して掲げた政策に賛同した方々に応援をされたものと認識している。

区民生活への支援を求めて

【質問】6年度に実施する生活支援臨時給付金の対象世帯を拡大すべき。

【区長】国は、幅広い世帯を対象とし、事業を実施するため、区独自の給付対象拡大については、動向に注視しつつ、状況に応じて検討を行う。

公契約条例の制定を求めて

【質問】公共事業における人件費の適正化は発注者にも顧問を担うか担わないか、また担う部活動の種目の選択については、学校ごとの取り決めとなるため、学校と協議していくこととなる。

※以上のほか、区民の負担増たばこ税の使い途、かわまちづくり、板橋交通公園の改修について質問があった

責任がある。改めて公契約条例の制定を求めるが、見解は。

【区長】公契約に係る労働環境向上への取組みを具体化した要綱を制定し、労働環境チェックシートを運用している。今後はその分析と活用を進めるほか、現場の声を聞きながら、効果的な制度のあり方について検討を進めていく。

人材確保・育成について問う

【質問】いつまでに、どのように人材育成や確保を図るのか、計画の策定と公表を。

【区長】板橋区職員レベルアッププランを毎年度策定しており、6年度から公表していく。人材確保に向けては、新たに着手している人材確保事業の効果検証などを行いながら、次期人材育成・活用計画の策定につなげていく。

あいきッズにおける学童機能の充実について問う

【質問】放課後から午後5時までの時間帯についても子どもに寄り添った対応ができるよう人員体制の強化を図り、学童機能を充実させるべき。

【教育長】人員体制は、国の

補助制度などの活用によるさらなる体制の強化に向けた研究を行っている。今後もDXの推進による新たなシステムの導入などにより、学童の多様な機能の質の向上を図っていく。

区有地活用のあり方を問う

【質問】旧高島七小跡地の地区計画で、建物の高さの上限を10mに引き上げる理由は。

【区長】周囲の住環境に配慮しつつ、敷地内に広場を確保したうえで、豊かな暮らしを支える機能を適切に誘導するためである。

【質問】UR団地の建替えは、どのように解体や転居が進められるのか、影響を受ける居住者にまず説明すべき。

【区長】直接関与するものではないが、居住の安定に配慮した検討や、居住者への丁寧な説明を行うよう、URに対して引き続き求めていく。

スファイア基準に沿った災害対策を

【質問】スファイア基準を地域防災計画に適用すべき。

【区長】スファイア基準は、被災者に支援活動を行う際の、国際基準であると認識している。避難所の一人あたりの面積を被災後約1週間以降は、スファイア基準の3.5平米とすることを検討していく。

子どもの権利を貫く教育を

【質問】包括的性教育に対する区の認識を問う。

【教育長】包括的性教育は、人権教育を基盤に、性教育にとどまらず、人間関係を含む幅広い内容を取り扱う教育であると理解している。今後も、より一層人間尊重の精神を徹底していく。



令和6年度予算に
対する総括質問(要旨)

3月14日、15日
19日
審査
特別委員会

◆総括質問の全文(会議録)は、6月上旬にホームページに掲載します。
◆スマートフォンなどで2次元コードを読み取ると、各議員が総括質問をしている動画にアクセスできます。

横川たかゆき

(自民党)

前野町三丁目集会所跡地の活用について問う

問 地域要望である防災広場の設置を。

答 板橋区公共施設跡地活用方針に基づき、地域要望を踏まえつつ、将来的な行政需要

山田たかゆき

(自民党)

学校給食残菜の堆肥化を問う

問 調理の過程で発生する残菜などについて、コンポストでの堆肥化を行う可能性は。

答 学校の敷地内にコンポストを設置する場合、温度管理などが必要となるが、実現可能性はあると考えている。

不登校対策について問う

問 教室以外の居場所づくりの拡充を進めるべき。

答 5年度より中学校3校を居場所推進校と指定し、教室以外の居場所づくりについて、取組みを実施している。今後その成果を検証し、効果的な居場所づくりを検討していく。

能登半島地震の教訓を問う

問 何を教訓に、地区防災計画の改定を行っていくか伺う。

答 避難所での物資不足や要配慮者対応などが大きな課題になった。地区別防災マニュアルを改定し、地区防災計画として位置付ける予定である。

川口雅敏

(自民党)

防災対策・かわまちづくり計画について問う

問 感震ブレイカーの設置支援について、現時点での検討状況及び方向性は。

答 都が配付した種類に限定せず、いくつかのタイプを検討している。今後、都の事業の効果などを検証し、スピード感を持って検討していく。

問 防災ガイド・ハザードマップの避難所一覧の番号を、

さかまき常行

(公明党)

防災対策について問う

問 災害ボランティアセンターの平常時の取組みは。

答 運営スタッフ養成講座などを開催し、多様な機関・団体との連携・協働を強化するための事業を実施している。

問 ヤングケアラー支援を問う

問 支援体制について、今後どのように検討・構築していくのか。見解は。

答 関係所管と連携し、包括的な相談体制を構築する中で併せて検討していく。

問 いたばしPayについて問う

問 都の地域通貨プラットフォームとの連携による相乗効果を期待する。見解は。

答 都の動向を注視するとともに、いたばしPay利用者にとっても有利な制度設計となることを期待している。

職場環境の最適化を問う

問 区が整備するハラスメントに関する体制と処分規定は、区議会も包括されるのか伺う。

答 区が雇用する職員などを対象としているため、区議会の事案は対象とならない。

避難所看板に盛り込むべき。答 提案のとおり、新たな避難所看板に表示していく。

問 かわまちづくり担当部長などの組織が新設され、またあつという間に組織が立ち上がったことについて説明を。

答 国交省荒川下流河川事務所との全面的なバックアップ体制に依拠していくこと、また、国との協働事業を推進したいという思いから、時限組織として設置することとした。

板橋駅板橋口地区公益エリア整備について問う

問 具体的な事業内容について、検討状況は。

答 交流・知識・文化という3つのテーマにふさわしい事業を展開する施設として、類似施設などの事例研究を進めながら、テーマに合った利用を想定し具体的な事業を検討している。

田中いさお

(公明党)

災害対策について問う

問 6年度から実施の浸水深表示について、今後の予定は。

答 6年度は、新河岸・舟渡地区の電柱及び区立施設などに表示するとともに、高島平・蓮根地区の区立施設などに表示する予定である。

問 災害ボランティアセンターの設置場所について、再検討が必要と考えるが、見解は。

答 現時点では、小沢体育館に設置する想定である。一方で、交通便利性の高い場所に設置するという観点も必要であり、より効果的な場所があれば検討していく。

問 応急給水栓が設置されている避難所を給水拠点にするよう求める。見解は。

おばた健太郎

(民主クラブ)

防災対策について問う

問 区は家庭内備蓄率を56%と算出しているが、数字の基礎である東京防災プラン進捗レポートを確認すると約17%と読み解ける。備蓄率の再考を。備蓄物資の最適化を進める中で、備蓄量や備蓄品目を精査していく考えである。

問 文化芸術振興について問う

問 文化会館のロビーピアノ

高沢一基

(民主クラブ)

富士山降灰対策について問う

問 土木や清掃など、屋外で作業する職員用のゴーグルや防護マスクの備蓄をすべき。

答 都の地域防災計画が改定され、区の地域防災計画を修正する過程で検討していく。

問 キャッチボールができる環境づくりを問う

問 地域の有志の方々の管理のもと、公園でボール遊びができる仕組みづくりをすべき。

答 提案の方式は、本来めざすべき姿である。団体などからの申請があれば、公共性など所要の確認を行ったうえで許可することは可能と考える。

問 応急給水栓を設置している避難所は、63か所と認識している。設置されていない避難所では、スタンドパイプを利用して、消火栓から水を供給する想定であり、各避難所を果たすと認識している。

問 性犯罪抑止のために、ホイッスルなどを備蓄すべき。

答 各避難所にホイッスルを備蓄する方向で進めたいと考えている。

について、歌唱やほかの楽器との合奏などは禁止されているが、利用拡大の検討を。

問 アンサンブル演奏のルールづくりを行うなど、前向きに検討していく。

中妻じょうた

(民主クラブ)

高島平まちづくりを問う

問 高島平駅前に駅前広場を整備し、バスターミナルやタクシープールを確保すべき。

答 鉄道とバス・タクシーなどの乗換え利便性を高める視点が重要であり、将来を見据えた交通機能の整備のあり方を検討していく必要がある。

問 西高島平周辺整備を問う

問 物流拠点機能の一環として、トラックターミナルに23区初の道の駅を整備すべき。

答 物流施設に代えて誘致することは困難であるが、生活利便性の向上につながる施設整備に向けては、引き続き、事業者と協議していく。

問 既存建築物の断熱化の推進を問う

問 住宅の断熱改修助成について、改めて区独自の助成を行うべき。

答 断熱に関する制度の動向や、他自治体の状況、区の執行体制を含め検討していく。

問 文化芸術政策の拡充を問う

問 児童・生徒が鑑賞教室など芸術に触れる機会を増やす取組みを学校が行えるよう、教育委員会として予算化を。

答 現在、芸術鑑賞教室など全体として実施する予算化は考えていないが、今後も文化芸術に触れる機会の創出に向けて働きかけていく。

山内えり

(共産党)

災害時のトイレの確保を問う

問 備蓄している携帯トイレの点検と総量を増やすべき。

答 古くなったものもあつたため、6年度予算では、更新する経費を約8万枚分計上した。また、備蓄量の精査を行う

基金を活用した家賃助成を問う

問 家賃助成にも使える住宅基金を活用し、非正規雇用の多い青年層や単身女性などへの家賃助成を検討すべき。

答 区営住宅の改築事業に充てており、将来負担などを考慮すると、現時点で実施を検討する考えには至っていない。

問 駐輪スペース不足を問う

問 高島平駅西口と西高島平駅の当日利用分の不足にどう応えるのか示すべき。

答 増設は指定管理者と協議し、6年3月下旬以降、機器の設置工事に着手する。高島平駅西口は69台、西高島平駅Eエリアは12台の増設予定。

問 小野ゆりこ

問 リベラルアーツ教育の、物事を多角的に見る視点や柔軟な対応力を身に付けることは、生き抜くための助けとなると考える。板橋グリーンカレッジで取り入れる予定は。

答 リベラルアーツの視点を取り入れ、プログラミングなど幅広い学びの機会を提供する。理解した内容をアウトプットする機会を増やし、豊かな学びの実現をめざしていく。

問 しいなひろみ

問 ベジテックの有効活用を問う

問 野菜摂取の充足度を測定するベジテックを活用し、食生活向上の一助にすべき。

答 栄養事業や各種イベントでの活用など、幅広い世代に体験してもらう予定である。

問 坂田れい子

問 歴史教科書採択を問う

問 自尊的な歴史観に基づく教育が生徒の成長に大きく寄与すると考える。見解は。

う予定である。

問 少人数学級の拡大を問う

問 一人ひとりの子どもに向き合うには、1学級あたりの児童数が35人では多すぎるため、少人数学級の拡大を国に求めるべき。

答 国や都の動向を注視し、教職員の働き方改革の推進に努めていく。

井上温子

(いたばし未来)

こどもの居場所計画を問う

問 学区ごとの居場所づくりを計画的に進めるべき。

答 次期「いたばし子ども未来応援宣言」の策定を予定しており、居場所づくりなどの計画への反映を検討していく。

問 多機能拠点への予算化を問う

問 常設型の居場所を運営する団体に助成を行うべき。

答 支援のあり方については、居場所の全体像の作成と併せて研究していく。

坂田れい子

(参政党)

歴史教科書採択を問う

問 自尊的な歴史観に基づく教育が生徒の成長に大きく寄与すると考える。見解は。

答 社会の形成者に必要な資質を育成できるよう、学校教育の充実に取り組んでいく。

しいなひろみ

(無所属議員)

ベジテックの有効活用を問う

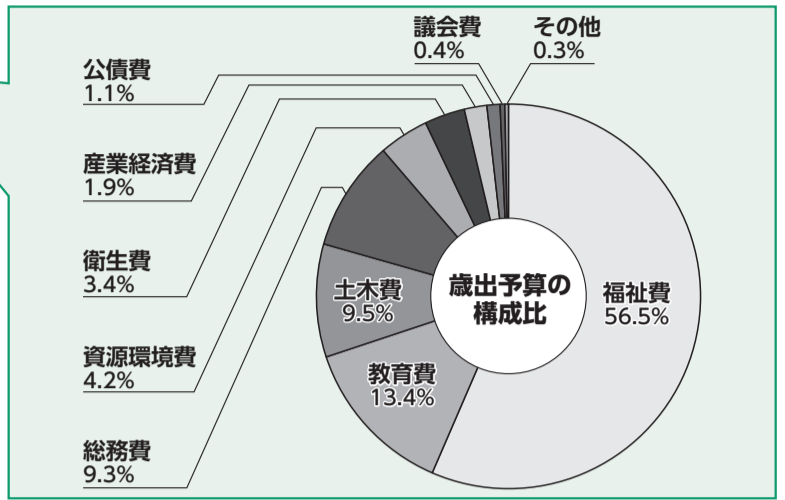
問 野菜摂取の充足度を測定するベジテックを活用し、食生活向上の一助にすべき。

答 栄養事業や各種イベントでの活用など、幅広い世代に体験してもらう予定である。

令和6年度 当初予算の概要と予算に対する討論(要旨)

一般会計	2,530億円 (6.6%増)	
特別会計	国民健康保険事業	554億6,000万円 (0.7%減)
	介護保険事業	475億1,800万円 (2.5%増)
	後期高齢者医療事業	151億9,000万円 (6.6%増)
	東武東上線連続立体化事業	7億7,700万円 (76.6%増)

※カッコ内は対前年度比



共産党

賛成 予算修正動議
反対 一般会計、4特別会計

「住民の福祉の増進」のために
全力を尽くす板橋区の姿勢を示せ

- 物価高騰対策が弱者、低所得者への支援策になっておらず、新規対策がない。中小・小規模事業者への直接支援策を打ち出すべき。
- さらなる義務教育無償化に向けて、私費負担をなくす対策に踏み出すべき。
- 国民健康保険料、後期高齢者医療保険料、介護保険料の値上げは許されない。
- 区の専門性や継続性が求められる仕事で、低賃金である非正規雇用が拡大しているのは問題。職員定数の抜本的改善を求める。
- 区民生活の苦難が広がっている中で、過去最高の基金総額1,299億円は異常である。再開発優先、基金積立て優先で、住民参加が保障されていない区政運営を転換すべき。

自民党

賛成 一般会計、4特別会計
反対 予算修正動議

コロナ禍により滞っていた施策を巻き返し、
10年後、20年後につながる予算編成を

- 国民健康保険事業をはじめとした、社会保障制度に関する負担増について、中身の精査はもとより、制度の見直しや改善を国に働きかけるなど区の役割を確実に果たすべき。
- 学校給食費の無償化は子育て世代に寄り添った事業展開がなされたものとして評価する。
- 2050年までのカーボンニュートラルの実現のために、より多角的なアプローチで新たな施策を推進し、区民・事業者が一体となって向き合える踏み込んだ計画を強く要望する。
- いたばしPayによる事業者支援は、消費喚起・地域経済活性化を通じた行動変容が見込まれ、暮らしをさらに豊かなものとし、商店街の活性化への寄与も期待される。

公明党

賛成 一般会計、4特別会計
反対 予算修正動議

前例に捉われない創意工夫により、
区政課題の解決に向けた積極的な予算編成を

- 産後ケア事業に新たに「通所型」が加わり、妊産婦・子育て世代の多様なニーズへの対応が可能となることを高く評価する。
- ヤングケアラー支援について、関係機関との連携体制づくりを進め、自覚を持ちにくいヤングケアラーへの周知・啓発の徹底を求める。
- ふれあい館での「シニアのスマートフォン個別相談会」の実施を高く評価する。スマホの利用促進に向けたさらなる充実を求める。
- プラスチック資源化では、区民へのわかりやすい周知や先行自治体の課題分析を行い、分別回収事業者や中間処理業者との意思疎通を良好に保ちながら、ゼロカーボンシティ実現をめざすべき。

民主クラブ

賛成 一般会計、4特別会計
反対 予算修正動議

区民の福祉の向上のために
さらなる施策の実施を

- 休日保育については、働く方の負担に配慮し、実現に向けて検討することを要望する。
- 小中一貫型学校を進めるのであれば、設置基準を設け、基準に基づく計画の実施を求める。
- 区独自の予算を拡充し、学校支援人材を最大限確保することを求める。
- 福祉のまちづくり構想から外れることなく、本庁舎周辺施設に関連部署の配置の計画を。
- 高島平地域のまちづくりは、住民要望を取り入れ、都やURと連携し、民間活力の導入を。
- 契約の適正な履行と労働環境の整備のため、公契約条例の制定を強く要望する。
- 区民サービス向上のために必要な事業が確実に実行できるよう、正規の区職員の確保を。

日本維新の会

賛成 一般会計、4特別会計
反対 予算修正動議

財政の健全化を進めながら、
真に必要とされるところに適切な予算配分を

- 能登半島地震を受けて、防災対策が区の重点施策として位置付けられ、さらなる強化が進められたことを高く評価する。
- 自助の必要性をより一層区民に伝え、地域コミュニティの結束を促すなどの施策や緊急時におけるコミュニケーション手段の確保に関する指導など強く推進すべき。
- 品川区では、全事業にわたる事務事業評価を行い、その結果を踏まえて、学用品無償化を実現した事例から、区でも事務事業評価の徹底を図ることを強く要望する。
- 区政改革が積極的に前進し、より持続可能で明るい将来を築くための努力を今後も続けていくべき。

いたばし未来

賛成 一般会計、4特別会計
反対 予算修正動議

区民が実際に利用するイメージを持ち、
民間や地域の力も借りながら制度設計を

- 総合防災訓練について、町会LINEなどを活用し、当事者に情報が届く仕組みづくりを。
- 産後ケア事業は、通所型産後ケアの導入や宿泊型産後ケアの拡充について評価する。今後は、区内の産後ケア施設の増設を求める。
- いたばしPayは、区からの補助金交付がなくても持続可能性があるのか検証を求める。
- スマートシティの推進は区民にどのような利益をもたらすのか、区民が実感できる事業を。
- コミュニケーション戦略を用いて、誰にどのように「絵本のまち板橋」を浸透させていくのか、受け手をイメージして深く検討を。
- まちづくりは、住民の声を区が積極的に拾っていく姿勢が必要である。

令和5年度補正予算に
対する総括質問(要旨)

2月27日
予算審査
特別委員会

◆総括質問の全文(会議録)は、6月上旬にホームページに掲載します。
◆スマートフォンなどで2次元コードを読み取ると、各議員が総括質問をしている動画にアクセスできます。

長瀬達也
(自民党)



補正予算について問う

問 物価高克服及び地域経済活性化対策事業の成果は。

答 機動的な補正予算編成により、キャッシュレス決済事業など当初予算に上乘せして拡充を図ったものや、学校給食費の無償化を新規で実施するなど幅広い支援を行うことができたと考えている。

ゼロカーボンシティの実現について問う

問 廃プラスチック回収の重要性について、区民に対してどのように説明するのか伺う。

答 単に分け方・出し方など処理方法を案内するだけでなく、区民の意識醸成、行動変容を図りながら伝えていく必要があると考えている。今後、区民に協力してもらえよう、様々な機会を捉えて丁寧な説明を行っていく。

学校給食費無償化を問う

問 7年度以降も学校給食費の無償化を実現すべき。

答 無償化の恒常的な実施については、安定した財源確保が課題であり、引き続き、国や都の動向を注視しながら対応を見極めていく。

区内経済の現状について問う

問 区内経済の景況について、見解は。

答 徐々に景気が上向いており、明るい兆しが見えてきて

寺田ひろし
(公明党)



防災について問う

問 木造住宅耐震改修の助成額を他区と同水準まで増額すべき。

答 各区と一律に比較することは難しいが、助成額の増額による区民負担軽減は耐震化を促進する一つの方法であると考えており、他区の状況も参考に検討していく。

環境について問う

問 ハトへの給餌と住環境の悪化をいかに調整するのか。

答 実効的な対策の検討を進めるとともに、条例制定や体制強化を考えている。

上板橋駅南口再開発を問う

問 駅舎2階へ上がるには、現在階段とエレベーター1基がある。再開発に合わせて、利便性を向上させるべき。

答 駅前広場と駅舎2階を結ぶ連絡通路を整備する予定である。また、新たな駅前広場には、階段2か所とエレベーター2基を計画しているほか、階段のステップを緩やかにするなど工夫を計画に盛り込み、利便性向上を図っていく。

いることを実感している。ただし、業種や事業形態の違いなどにより、業績の回復状況は異なるため、物価上昇などの影響を今後も注視していく必要がある。

五十嵐やす子
(民主クラブ)



実効性のある避難所の運営を問う

問 発災時の帰宅困難者への対応として、一時滞在施設の開設の判断まで6時間かかるとの報告、施設管理者が受入れを開始するまで12時間かかるという想定でよいのか伺う。

答 開設ありきの制度ではなく、開設時間もおおむねの目安である。

問 トイレの備蓄について、改めて呼びかけが必要。家族人数×3日分が必要であることの周知について、見解は。

答 簡易トイレの備蓄を推奨しており、今後も家庭内備蓄の啓発を強化していく。

問 断熱化は省エネや健康の観点からも推進すべきである。学校や区営住宅を含む公共施設における断熱化の現状は。

答 改築工事や大規模改修工事では、断熱化を行っている。

荒川なお
(共産党)



舟渡四丁目の大規模物流施設周辺の交通対策について問う

問 交通量が増えることによりどのような影響があるか。

答 事業者が推計した結果、施設の前面道路の交通量は、1日あたり1000台を超える増加が想定される。事業者からは、施設計画において、各種交通安全対策を講じる予定と聞いている。

問 一般車両が、混雑を避けるために規制対象の道に入ってくる可能性や新たな抜け道ができる可能性は。

答 混雑を避けるために幹線道路以外の道路に入り、新たな抜け道ができる可能性は想

大森 大
(日本維新の会)



家具転倒防止金具などの購入費用の助成対象について問う

問 渋谷区のように、助成対象を区内に居住し、住民登録しているすべての人に拡大を検討する予定は。

答 他自治体の取組みを研究するとともに、引き続き、ホームページなどで、家具転倒防止の啓発に努めていく。

大野ゆか
(いたばし未来)



子どもの遊び場と公園を問う

問 板橋交通公園に常設ではないプレーパークの設置を。

答 民間の知見も入れながら、実現をめざしていく。

坂田れい子
(参政党)



新型コロナウイルス予防接種健康被害について問う

問 申請に係る費用の補助を。

答 区独自の費用助成などは予定していない。

しいなひろみ
(無所属議員)



訪問介護事業所への支援を問う

問 固定費などを補助すべき。

答 金銭給付ではなく、介護人材の確保・定着などに効果のある取組みを実施していく。定されるが、その影響については、現段階で予想することは難しいと考える。

第1回定例会及び第1回臨時会の審議結果

◆議案の内容や議員ごとの態度はホームページに掲載しています。
◆会議録は5月下旬に区議会ホームページや区議会事務局、図書館、区政資料室で閲覧できます。

■全会一致となった議案・陳情と審議結果

Table with columns: 件名, 結果. Rows include budget items and motions.

■意見が異なった議案・陳情に対する各会派の態度

(○=賛成、×=反対、退=退席)

Table with columns: 件名, 会派名, 結果. Rows include budget items and motions with voting results.

一般質問

2月14日
本会議

◆質問と答弁は要旨を掲載しています。
◆一般質問の全文(会議録)は、5月下旬にホームページに掲載します。
◆スマートフォンなどで2次元コードを読み取ると、各議員が一般質問をしている動画にアクセスできます。



石川すみえ

(共産党)



区民の命を守る災害対策

【質問】低所得、高齢者、子育て世帯などに対し、備蓄のための経済的支援をすべき。
【区長】避難所では誰に対しても、食料品や日用品、医薬品などを供給するため、平常時の個々への備蓄支援の必要性は高くないと考えている。



【質問】福祉避難所の協定を結んでいる事業者、利用が想定される当事者と、区が一緒に開設訓練を実施し、個々の課題解決に取り組むべき。
【区長】コロナ禍前に訓練を実施し、各種課題の抽出を行った。今後は、訓練内容を福祉避難所連絡会などで関係

太陽光発電設備について

【質問】太陽光パネルは破損した場合でも日光が当たると発電し続ける可能性がある。感電事故に対する区の対応は。
【区長】国や都と連携を図りながら、太陽光パネルの安全技術の進捗を注視しつつ、安全な利用が図れるよう注意喚起や情報提供に努めていく。



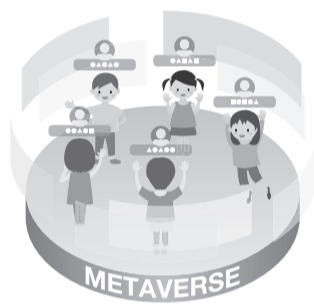
小野ゆりこ

(日本維新の会)



メタバース空間を活用した不登校支援の実施について

【質問】不登校児童・生徒の学びの場の選択肢の一つとして、メタバース空間を活用した不登校支援を開始しては。
【区長】柔軟な対応が必要となる場合も想定されるため、児童の心身の健全な発達にも配慮した受入れのあり方について検討していく。



大野ゆか

(いたばし未来)

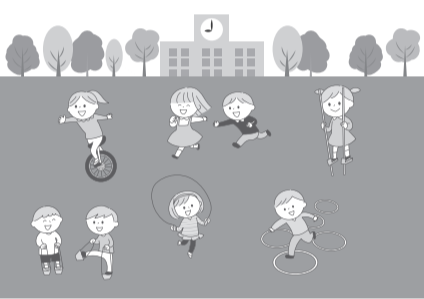


乳児防災について

【質問】災害時のカップ授乳の有効性や授乳方法について周知すべき。
【区長】都助産師会が作成している実演動画をホームページに掲載し、災害時に備えて周知を強化する。

地域の声を生かした板橋交通公園の整備を求めて

【質問】子どもの乗り物は、引き続き無料にすべき。
【区長】自転車などは、基本的に再整備後も無料提供を継続するが、高額な設備投資を伴うものなどは有料とする。以上のほか、社会保障の充実を、物価高騰から区民生活を守るために、「こどもを殺すな!ガザの即時停戦の声」について質問があった



能登半島地震から見る板橋の防災について

【質問】自助・共助の観点から防災講習などを継続的に進めている。また、共助の中心となる住民防災組織との連携強化を図るため、避難所開設訓練の支援なども継続的に実施している。
【区長】避難場所として活用されると思われる公園に、これまでベンチを整備すべき。
【区長】小中学校を避難所に指定しており、燃料や食料の確保の課題もあって、区立公園が避難者の炊き出しの場となることは想定していない。



横川たかゆき

(自民党)



不登校・ひきこもりの支援について

【質問】小中学校の卒業で支援が途切れることがないよう、卒業後も支援が届くような体制づくりをすべき。
【区長】専門相談窓口を5年7月に開設し、卒業後の児童や家族からの相談にも応じて登校時間を持つなどの影響がある家庭に対し、朝の校庭開放などの政策を検討すべき。
【区長】6年度に第三期の「こども・子育て支援事業計画」を策定する予定であり、朝の時間帯における小学生支援の必要性を検討していく。以上のほか、災害時の性加害を防ぐための啓発活動について質問があった

施設の整備について

【質問】階段の手すりなど、高齢者や障がい者が利用する際の動線を確認すべき。
【区長】施設の改築や大規模改修を行う際には、手すりやスロープの設置などのバリアフリーに配慮した工事を行っている。引き続き、計画的な改修を行い、より利用しやすい施設をめざしていく。

区立見次公園について

【質問】見次公園にある池はここ数年汚れているようだが、現在の水質保全の取組み状況と今後のメンテナンスの予定を示すべき。
【区長】練餌を使った釣りの制限や、炭を活用したろ過施設による水質浄化で、魚などが生息できる程度の水質を確保している。今後も適宜、水質の観察を行い、状況に応じた対策も行っていく。

災害対策について

【質問】協定を締結している沼田市など自治体間の信頼醸成が住民主体で得られるよう、効果的な人的交流事業を検討すべき。
【区長】新たな関係性となる可能性を区の交流資源と捉えつつ、効果的な人的交流事業のあり方を検討していく。
【質問】避難所へのペット同行避難について、獣医師や関係団体と協力を進めるべき。
【区長】区支援のもとペット関係団体主体の避難訓練を5年度に実施したところであり、今後も周知及び関係団体との連携を強化していく。



中村とらあき

(自民党)



関係団体が作成したスターキット

2024年問題について

【質問】残業規制が建設業や運送業に適用される、2024年問題について、見解は。
【区長】今後も労働環境の確保に加え、公共工事の担い手を支援し、良好な工物品質を維持するため、2024年問題への取組みを進めていく。

子育て支援政策について

【質問】板橋区を居住地として選んでもらえるような子育て支援政策を進めるべき。
【区長】特徴のある子育て支援策を継続的に実施してきたと自負しており、引き続き区の独自政策を推進していく。
【質問】物価高騰や各学校で購入している異なる食料費への対応について、見解は。
【教育長】6年4月からの給食費は物価高騰を踏まえ、見直しを行った。この額に基づき無償化補助金の予算を増額し、保護者の負担軽減を図っていく。調味料などは共同購入により学校ごとに価格差が生じないよう取り組んでいる。

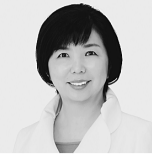
地域課題について

【質問】ときわ台駅周辺地区及び上板橋駅北口周辺地区のまちづくりの進捗状況と今後の予定、区長の思いは。
【区長】まちづくり勉強会を重ねており、6年3月に協議会を設立予定。地元主体の協議会を支援することにより、「東京で一番住みたくなるまち」の実現をめざしていく。

上板橋駅南口の再開発について

【質問】上板橋駅南口の再開発では、自転車駐車が整備される。既存駐車場と併せ、多様な自転車への対応を。
【区長】10年度に区に引き渡されるまでに施設や運営形態を決定したいと考えている。既存の駐車場は、施設の改善に努めるが、当面は情報面でのサービス改善を図っていく。

【質問】板橋区を居住地として選んでもらえるような子育て支援政策を進めるべき。
【区長】特徴のある子育て支援策を継続的に実施してきたと自負しており、引き続き区の独自政策を推進していく。
【質問】物価高騰や各学校で購入している異なる食料費への対応について、見解は。
【教育長】6年4月からの給食費は物価高騰を踏まえ、見直しを行った。この額に基づき無償化補助金の予算を増額し、保護者の負担軽減を図っていく。調味料などは共同購入により学校ごとに価格差が生じないよう取り組んでいる。



わたなべ 一美

(公明党)



区民の健康を守る取組みを

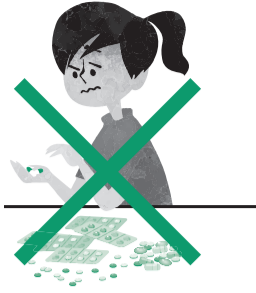
【質問】糖尿病重症化予防対策として、国保データベ...

【区長】未受診者や治療中...

【質問】オーバードーズの危険性について、リーフレット...

【区長】区立小中学校では、薬物乱用防止教室などで、都...

【質問】都の補助金を活用した終活相談窓口の開設を求...



【質問】40歳未満の若年が患者への在宅医療に係る経済的支援を導入すべき。

【区長】支援ニーズの把握に努め、他自治体の先進事例について研究していく。

【質問】必要性の高い公共施設からでも、AEDの屋外設置を拡充すべき。

設置を拡充すべき。

【区長】地域センターに屋外設置しているほか、小中学校では校庭開放時にも使えるよう、屋外設置に移行した。

区民の命を守る防災対策を

【質問】小中学校での防災教育として、マイ・タイムラインの活用を求めたい。

【区長】マイ・タイムラインも含めた防災セミナーの講師派遣など、防災教育を推進している。

単身高齢者の終活支援を

【質問】都の補助金を活用した終活相談窓口の開設を求めたい。

【区長】補助制度の活用も参考に、終活支援体制のあり方について検討する。

産後ケアについて

【質問】育児中の申請者に負担がかからないよう、各事業の申請方法を改善すべき。

【区長】産後ケア事業は、6年度よりオンライン申請を導入する予定である。

【MFLP・LOGGIFRO ネット東京板橋】を問う

【質問】安心・安全の道路



高沢 一基

(民主クラブ)



能登半島地震の支援を問う

【質問】金沢市への職員派遣を含む継続した支援が必要と考える。

【区長】災害時相互応援協定を6年2月に締結し、職員派遣を開始する予定であり、継続的な支援を行っていく。

【質問】金沢市を窓口として、能登半島の自治体の情報を収集・調整し、支援することを求めるが、見解は。

【区長】金沢市と情報交換をしながら、金沢市以外への職員派遣などについて、検討・調整していく。

区内消費喚起について

【質問】国は6年6月に所得税・住民税の減税を行う予定。減税を貯蓄に回さず経済の好循環をつくり出すため、減税時期に合わせたプレミアム付き商品券を発行すべき。

【区長】発行には、いくつかの工程が必要となり、スケジュールとしては難しい。

【質問】都計画道路路にネットワークの向上や道路交通環境の改善を図るための整備を求める。見解は。

【区長】都市計画道路については、引き続き都に拡幅整備の早期実現を要望していく。

【質問】引き続き都に拡幅整備の早期実現を要望していく。また、周辺交通への配慮や交通安全の確保については、引き続き物流施設の事業者へ対策を講じるよう要望し、区としても状況を注視していく。

【質問】減税時期に合わせ、いたばしPAYポイント還元の実施を問う。

【区長】6年6月に、ポイント還元キャンペーンを行う予定となっている。

【質問】区内全駅へのホームドア設置を早期に実現させるため、対象駅を拡大した区独自の補助制度を創設すべき。

【区長】区の補助制度は、区内各駅での整備に対する補助として、引き続き都と連携し、鉄道事業者と協議を進め、早期実現を促していく。

【質問】侵入事案の多い踏切の場所や時間を情報収集し、場所と時間を限って警備員を配置すべき。

【区長】踏切対策連絡会で、配置を毎回提案しているが、必要性はないとの東武鉄道の認識に変わりはなく、より有効な踏切の安全対策について協議・調整を続けていく。



東武練馬駅前の踏切

※以上のほか、休日保育の実施について質問があった

第10回板橋区議会報告会を開催しました

令和5年12月20日(水)に、板橋区議会報告会を会場とインターネット中継を併せたハイブリッド形式で開催しました。

今後とも、区民の皆様に信頼される区議会、開かれた区議会をめざしていきたく思います。

ご来場、ご視聴いただいた皆様、ありがとうございました。当日の様子は、ホームページで録画配信をしていますので、ぜひご覧ください。

板橋区議会報告会

検索



いたばし区議会だよりをスマホで!

各自治体の広報紙を閲覧できる無料アプリ「マチイロ」や多言語対応アプリ「カタログポケット」でもご覧いただけます。

無料行政情報アプリ「マチイロ」



Android用



iPhone用

多言語対応アプリ「カタログポケット」



Android用



iPhone用

議会トピックス

- 会議は原則として午前10時に開会予定です...
●手話通訳は希望日の7日前、一時保育は希望日の10日前...
●本定例会中に審査を希望される請願・陳情につきまは、5月28日(火)午後3時までにご提出ください。
●本会議の様子は、インターネットでライブ中継及び録画配信を行います。